

第1回CKD健康セミナー

4月8日 ウィンクあいち

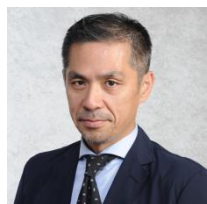


「心臓を守るための、カルシウム・リン管理の重要性」

名古屋市立大学地域医療連携センター長 愛知腎臓財団CKD対策協議会普及啓発部長
吉田篤博先生

1979年弘前大学医学部卒業
1979年4月名古屋市立大学病院 腎臓内科
名古屋第二赤十字病院
2015年名古屋市立大学地域医療連携センター長

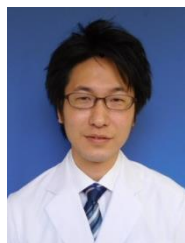
血管はただの管ではなく、拍動して血液を末梢まで送り届けています。この血管が石灰化などで硬くなると、十分な血液を送り届けられません。血管内膜の石灰化は脂質の影響が大きく、血管中膜の石灰化はリン、カルシウム、腎不全の影響が大きいのが特徴です。血管に障害をおこすと、脳であれば脳卒中、心臓なら心筋梗塞、下肢なら脚の壊疽の原因となり、生活の質を落とします。血管を守って、生活の質を高めましょう！



「慢性腎臓病患者の心臓をまもるために ：早期発見、早期治療のために新しい心臓病検査アンモニア PET検査の果たす意義」

名古屋共立病院 循環器・ASOセンター長 循環器内科部長 大島 寛先生
1994 徳島大学 医学部医学科卒業
2014 名古屋放射線診断クリニック
日本内科学会総合内科専門医、指導医、日本循環器学会 専門医、日本核医学会 専門医 PET核医学認定医
2018 名古屋共立病院 循環器内科

近年、慢性腎臓病（CKD）は患者数が増加し、糖尿病、高血圧、脂質異常に並んで国民病の一つとなっています。CKDでは、脳卒中や狭心症、心筋梗塞（虚血性心疾患）などの心血管病の危険因子の一つと考えられるようになり、無症状で病気が進行する事も多く、早期発見、早期治療が重要です。アンモニアPET検査では心筋を流れる血流を画像化し血流速度の測定が可能で、虚血性心疾患の診断には大変有用です。本講演では本検査を中心とした虚血性心疾患の診断のための画像診断検査を紹介します。



「狭心症、心筋梗塞と診断されたら」 西尾市民病院循環器内科医長 吉田雅博先生

2010年藤田保健衛生大学医学部卒業
2010年4月から2012年3月 JCHO中京病院 臨床研修
2012年4月から2017年3月 JCHO中京病院 循環器内科
2017年4月から 西尾市民病院 循環器内科 医長
所属学会 日本内科学会 日本循環器学会 日本心血管インターベーション治療学会
日本内科学会認定内科医 日本心血管インターベーション治療学会認定医

狭心症、心筋梗塞と診断された際、必要な検査となるのが心臓カテーテル検査です。心臓カテーテル検査で冠動脈の狭窄が見つかった場合、治療は薬物治療、心臓カテーテル治療、心臓バイパス術があります。この中でも心臓カテーテル治療について、適応や実際の治療の流れ、合併症について説明します。



CKD キャリアネット

CKD CAREER NET